

将来を見据えた健全で持続可能な 行財政運営をめざして

1 財政見直しにおける収支不足への対応

第2次宝塚市行財政運営アクションプランに掲げる取組を着実に進め、徹底した進捗管理と適宜の見直しにより、引き続き財政健全化に取り組んでいきます。

- ① 2016年3月に作成した財政見直しにおける収支不足に対応するため、アクションプランの取組を進め、本年度までの重点取組期間は一定の成果を上げており、引き続き着実に取り組めます。
- ② 本年10月作成の財政見直しにおける2022年度までの5年間の収支不足について、効果見込額を新たに見込んだことで約1億2千万円の黒字を見込んでいます。引き続き、取組を着実に進めます。

2 働き方改革の推進による市民サービスの質の向上

職員の心身の健康を守り、職員一人ひとりがやりがいを持って働ける環境を整え、効果的、効率的で質の高い業務を行うとともに、新たな課題にも対応していくことで市民サービスの質の向上を目指します。

- ① 総労働時間の適正化を図るため、全ての事務事業における業務量や事業に費やしている時間などを把握し、RPAやAIといったテクノロジーを活用するなど、事務を簡素化させるとともに事業も見直していきます。
- ② 業務の優先度の整理や集中化を図り、職員の適正配置などを行うことで職員負担を減らし、生産性を向上させ、時間外勤務の縮減とワークライフバランスを実現させていきます。

3 将来を見据えた行財政運営

社会構造が本格的な人口減少や超高齢社会により変化していく中、市民サービスを維持し、質を向上させていくにはどのような対応が必要となるのかを想定し、現時点からその対応に必要な行財政運営や取組を進め、市民の暮らしを守っていきます。

- ① 社会情勢を的確に捉え、行政が果たすべき役割の範囲と優先度を見極め、選択と集中を行っていきます。
- ② 持続可能な公共施設を次世代につないでいくための公共施設マネジメントの取組や、市の将来に向けた成長と発展に必要な事業を重点化し、適切な投資を行います。